

## 韓国で史上初の国際庭園博覧会が開催！！ ～2013 順天湾国際庭園博覧会 in 韓国全羅南道順天市～

ソウル事務所

### ■韓国で初めて開催される国際庭園博覧会

2013年4月20日（土）から10月20日（日）までの日程で、韓国の全羅南道順天市（スンチョンシ）において、「地球の庭園・順天湾」をテーマに国際園芸博覧会『2013 順天湾国際庭園博覧会』が開催されています。

庭園博覧会とは、未来の様々な庭園文化・技術を展示・共有する場で、欧州などの先進国では既に約150年前から浸透しており、土木、治水、ITなどその時代のあらゆる技術を総合的に活用し、都市開発及び環境計画の一環として行われています。開催後に施設を撤去しなければならない産業博覧会とは異なり、時間の経過とともに、木々が成長し、その価値が高まる未来型博覧会です。

今回のレポートでは、2013年5月に、クリアソウル事務所職員で本博覧会を視察する機会を得ましたので、博覧会の概要を紹介するとともに、会場の様子をお届けします。



2013 順天湾国際庭園博覧会会場とその周辺全景（出典：博覧会公式ガイドブック）

## ■2013 順天湾国際庭園博覧会の概要

テーマ：「地球の庭園・順天湾」

開催期間：2013 年 4 月 20 日（土）～10 月 20 日（日）〔6 か月間〕

主催：2013 順天湾国際庭園博覧会組織委員会（理事長 順天市長）

会場：全羅南道順天市 順天湾一帯

規模：約 111 万 2 千㎡

造成費用：約 1,064 億ウォン（約 97 億 7 千万円）

主な内容：世界的な生態庭園（83 庭園）

- ・庭園：世界庭園、テーマ庭園、参加庭園、樹木園、順天湾ほか
  - ・展示：国際湿地センター、韓方体験館、室内庭園、エコジオ温室ほか
  - ・公演：主題公演、韓国伝統公演、招請企画公演、地域団体芸術公演ほか
- ※世界庭園（韓国、中国、日本、フランス、オランダなど 11 か国）

目標来場者数：400 万人

ウェブサイト：<http://jpn.2013expo.or.kr/>

博覧会の概要は上記のとおりですが、会場へ入場しての第一印象は、自然と調和した風景が大変美しく、植栽等の手入れが隅々まで行き届いているということでした。ゴミひとつない会場には、電気自動車が運行されており、環境への配慮が感じられました。

また、開催から約 2 か月が経過した 6 月 18 日には、来場者数が 200 万人を超え、目標来場者数の 400 万人達成は、ほぼ確実に達しています。

好調な集客が成功していることについて、同博覧会組織委員会では、「自然と環境、生態系に対する認識の転換による観光トレンドの変化」を理由の 1 つにあげています。また、同委員会の理事長でもある趙忠勳（チョ・チュンフン）順天市長は、「人々の関心が産業から生態・環境にシフトしたため、韓国で初めての国際庭園博覧会が注目されているのだろう。」と分析しています。



自然と調和した美しい博覧会場の様子



博覧会場内を走る電気自動車



## ■博覧会の中に日本と韓国との友好の証が！

博覧会場内には、上記のとおり 11 か国の世界庭園があります。

その中には、韓国孤児の母・田内千鶴子さんの縁から交流が始まり 2003 年から観光・文化交流協定を締結のうえ交流を深めている高知県と全羅南道との友好関係を表した「日本庭園（高知県）」や、1996 年から職員の相互派遣を行い 2011 年に友好交流協定を締結した佐賀県と全羅南道との友好の証である「日本庭園（佐賀県）」が設置されています。



高知県と全羅南道との友好関係について記した石碑〔日本庭園（高知県）前〕

日本庭園においては、韓国人来場者の方々から「日本の庭だ!」、「趣があるね」、「これ（ししおどし）は何だ?」など、日本庭園に対する驚きと関心の声を聞くことができました。

これらの日本庭園については、博覧会閉会後も半永久的に保存される予定とされており、日本と韓国との友好交流の証としての役割を今後も果たしていくものと思われます。



佐賀県と全羅南道との友好の証としてつくられた日本庭園（佐賀県）

## ■所感

今回の博覧会を視察して、会場と自然との調和については、前述のとおりですが、韓国全羅南道、全羅南道麗水市、全羅南道順天市、全羅南道求礼郡などの韓国関係地方自治体の広報ブースによる広報や「地方自治体の日」イベントも催されており、博覧会の機会を有効活用している様子が伺えました。また、幼稚園児や小学生の視察団なども多く見られ、これから夏休みを迎えることを考えるとますます来場者数が増えることが予想されます。

4月20日の博覧会開幕式で趙忠勳（チョ・チュンフン）順天市長からの開幕宣言にある「この博覧会は、産業化で衰弱した自然と人間に、共存と生活の質の向上に向けた知恵を授けるだろう。」という言葉が示すとおり、本博覧会が成功裏に終わり、現代の韓国社会が抱える様々な課題が、これを契機に克服されることを願ってやみません。

（坂庭所長補佐 長崎県派遣）